

令和4年度 第1回高根沢町総合教育会議 会議録

会議の日時	令和4年6月22日（水） 開会 午後1時30分 閉会 午後3時55分	場 所	高根沢町改善センター 2階 研修室	
出席者の氏名	加藤公博（町長） 野 中 直 子 中 野 謙 作 齋 藤 君 世 片 野 真 恭 坂本美知夫（教育長）	説明員及び書記氏名	(学校教育課) 課 長 福田 和則 給食センター所長 林 博志 課長補佐 小林 賢治 課長補佐兼管理主事 福山 賢一 兼指導主事 課長補佐兼指導主事 今平 紀章 主任主事（書記） 亀本 詩音 (こどもみらい課) 課 長 田中 圭子 係 長 森島 貴之 (生涯学習課) 課 長 福田 光久 課長補佐 赤羽 康弘 係長兼社会教育主事 平山 勇輔	
欠席者の氏名				
会 議 次 第				
1 開 会				
2 町長あいさつ				
3 議 題 (1) 令和3年度高根沢町教育行政の主な実績について (2) その他				
4 閉 会				

議 事 の 経 過

学校教育課長	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4に基づき、総合教育会議を開催します。 はじめに、町長よりごあいさつをお願いいたします。
町長 (あいさつ)	年2回を予定している総合教育会議については、町部局と、町教育委員会の委員とが意見を交換する貴重な機会であり、委員の皆様の意見を町部局において反映していく効果的な機会であると捉えておりますが、まだまだ十分ではなく、更に効果的に実施していく必要があると考えています。また、教育委員の意見を、教育の基本的な方向性として教育施策、予算編成等を形作っていく必要があります。例えば、議会の一般質問等で出た教育施策に関する質問や教育長の答弁についても、教育委員会にしっかりと情報提供して教育委員会事務局の考えを示した上で教育委員の意見を聞くべきであると考えていますので、事務局としてきちんと検証を行って何を優先すべきかを判断し、事業の組み立てをしてもらいたいと思います。今後もしっかりと、議会でのやりとりの要旨を教育委員に情報提供するようお願いします。
教育長	議事録署名人に野中委員、書記に学校教育課稚本主任主事を指名します。 議題(1) 令和3年度高根沢町教育行政の主な実績について、事務局から説明します。
学校教育課長	それでは、議題(1) 令和3年度高根沢町教育行政の主な実績についてです。令和3年度の主な実績を「町地域経営計画2016(後期計画)」における基本目標・施策ごとに、それぞれ主な「実施内容」、「課題」、「課題に対する取組方針」を掲載しました。 (資料をもとに学校教育課、生涯学習、こどもみらい課から順に説明)
教育長	ただいま、事務局から説明がありました。委員の皆様から、それぞれ所管課の内容ごとに順番にご意見をいただきたいと思います。まず、学校教育課の事業についていかがでしょうか。
齋藤委員	英語教育の充実(ALT・JTEの活用)の「課題」の中で、指導力向上以外にALTの「業務に対する意識向上」が課題とありますが、どのようなことでしょうか。
今平指導主事	ALTの職務の範囲、チーム体制での指導に対する協働意識、授業以外での児童との交流・関わり、授業のない時間の授業教材研究、出勤時刻を守ること等について確認するため面談、研修、指導等を行ってきましたが、意識向上につながる成果が得られなかったことから課題としています。

議 事 の 経 過

野中委員	学ぶ意欲を高める学習指導の充実の「課題」の中で、教員の実態に応じた支援を進めることが課題とあるが、「実態」とはどのようなことか？ また、「取組方針」の中で、教員の学習指導力の向上に取り組むとあるが、どのような対象者にどのような方法を考えているのか？
今平指導主事	町では、若手のうちにしっかりした授業力を身に付けてほしいという趣旨で、教員の指導力向上を図るための「授業改善に向けた授業訪問」に取り組んでおり、初任者研修を受ける１年目の教員を除き２年目から４年目の若手教員を対象としています。それぞれの教員の経験年数や能力といった教員の実態に応じて、授業づくりの支援を行っているものです。
中野委員	学ぶ意欲と自己肯定感・自己有用感の育成の「実施内容」の中で、hyper-QUを活用して学級経営の改善を図ったとあるが、具体的にはどのように取り組んでいるのか。
今平指導主事	１回目の結果をそれぞれ学校ごとに分析し、課題を把握して学級経営の改善に取り組んでいます。課題によって取り組む内容は様々ではありますが、学年又は学校全体の取組と位置付けて、学級活動や特別活動の中で、人間関係づくりなどに取り組んでいます。
齋藤委員	学ぶ意欲と自己肯定感・自己有用感の育成の「実施内容」にある「キャリアパスポート」については、小学校から高校までの使用を見越した取組を実施しているのでしょうか。
今平指導主事	この取組は、最初に町が用意した「ファイル」にキャリア教育などの記録を綴っていくもので、高校まで引き継いで使用する前提で開始されました。将来役立つ記録となるようファイルに綴る内容や量に配慮しながら実施しています。
齋藤委員	健やかな体の育成における「運動遊びプログラム」についてですが、運動遊びプログラムをその他の活動に取り入れていくことの１つの例として、幼少連携協議会の中で、運動遊びを用いた交流の取組が始まりましたので、参考にご報告させていただきます。スポーツ庁の調査結果では、小中学生の運動能力や体力が低下しているとのことですので、この取組はとてもよい取組だと思います。
今平指導主事	「運動遊びプログラム」については、体育の時間だけでなく、休み時間であったり、そのほかの活動だったり、更に広がっていくように取り組んでいきたいと思っています。
野中委員	特別支援教育の充実の「課題」の中で、外国人児童生徒への対応が出てきますが、外国人の保護者に対してはどのような方法で通知や連絡をしているのでしょうか。

議 事 の 経 過

福山管理主事	本町でも外国人児童生徒の就学が増えてきており、そのうち日本語指導の必要な児童生徒が7名、ほとんど日本語が話せず西小学校の日本語指導教室で学んでいる児童が5名おります。幸い、現在のところ日本語や英語が全く話せない保護者はありませんので、英語専科の教員の協力を得ながら個別に対応しております。今後については、小山市や真岡市などの事例を参考にしながら、連絡帳の内容をパソコンでそれぞれの言語に翻訳する方法などについて研究してまいります。
齋藤委員	特別支援教育の充実の「課題」の中で、いわゆるグレーゾーンの子どもたちへの対応が出てきますが、「障害児・軽度障害児保育事業」実施については町の補助制度の中に保育園等に対する補助があるので、幼稚園に対しても同じ補助が対象になると思います。
こどもみらい課長	現在、幼稚園は対象となっていない補助ですが、確認して検討させていただきます。
中野委員	これは意見としてですが、経済的に不安定な家庭に対する支援については、経済的な貧困とともに、関係性の貧困や孤立化が問題であり、お金よりも「物・人の支援」といった方向性が必要と思います。例えば、社会福祉協議会と協力してフードバンクなどからつながっていく施策や取組をご検討いただきたい。
教育長	それでは、続きまして生涯学習課の事業内容について、ご意見をお願いいたします。
齋藤委員	「文化財を受け継いでいこう」の実施内容にある「子ども向けホームページの整備」については、いつ頃の完成を目指しているのでしょうか。
生涯学習課長	学校での調べ学習に使えるような内容を作り上げて、地域経営計画後期計画の計画期間である令和7年度末までの作成を目指しており、なるべく前倒しして作成していきたいと考えています。
中野委員	ペタンクやカローリングについては、例えば、高齢者との交流など、小学生が参加するような仕組みは考えていますか？
生涯学習課長	夏休みに実施する「たんたん探検隊」の中で、ペタンクやカローリング教室を実施しているほか、子供会育成会を通じた出前講座としても開催できます。国体のデモンストラションスポーツとして取り組んだペタンクとカローリングについては、今後も国体のレガシーとして引き続き取り組んでいきます。
教育長	それでは、続きましてこどもみらい課の事業内容について、ご意見をお願いいたします。

議 事 の 経 過

野中委員	参考資料「子育てに関するアンケート結果」の中で、「他市町に比べて助成制度が少ない」と回答している方がいたことについては、例えば、他市町との比較一覧などをデータ化したもので分析をすると、町の強み弱みなど明らかになってくることもあるのではないのでしょうか。
こどもみらい課長	高根沢町の子育て支援制度は充実していると考えていますが、周知が足りていないことのほか、助成ニーズの更なる把握が必要だと思しますので、情報の分析や収集に努めてまいります。
齋藤委員	「NIKO♡NIKO 子育て相談室」ができたことで、相談への促しの道筋ができたことはとてもよかったと思いますが、相談ニーズが多すぎて、相談することが躊躇されるほどの忙しさがあると感じており、非常に現場では頑張っておられる状況を見ますと、人的・組織的な改善ができないものかと思っています。 また、「NIKO♡NIKO 子育て相談室」に相談を受けていただいた保護者からの意見として、「部屋が無機質で少し緊張してしまった」という声がありましたので、柔らかい雰囲気づくりに向けて取り組んでいただければと思います。
こどもみらい課長	人的な体制が足りなくなっている状況はあると思います。また、相談室の施設が古いことも要因だとは思いますが、工夫して柔らかい雰囲気づくりができるよう、担当の保健センターにも伝えておきます。
中野委員	子育て支援に関する相談については、インスタグラムの運用等はとてもいいと思いますが、第一相談窓口としてLINEの運用があってもいいかと思っています。働く母親の支援ができるよう、相談時間が限られる働いている方でも相談しやすい体制づくりをお願いします。
こどもみらい課長	現在まだLINEの運用はしていませんが、今後検討させていただきます。
町長	教育委員の皆様から様々なご意見、ご指摘等いただきありがとうございます。 全体としては、目的に向かってどのように課題解決を図っていくか、目的を掲げてチャレンジしていくか、予算化・事業化をしていくか、そのための教育委員会事務局としての動機づけやモチベーションがまだ少し弱いのではないかと思っています。どうやって解決するか、具体的にどうやって取り組むのか、という十分な検証が足りていないと感じますし、そうでないとなかなか前進していかないと感じています。そのため、地域経営計画に掲げた評価基準をきちんと盛り込んで分析し、数値的な検証をするべきだと思います。また、教育の現場の意見を吸い上げて、きちんと行政側が現場をサポートできるよう、役割分担を踏まえて相互の信頼が深まる

議 事 の 経 過

	よう取り組んでいってほしいと思います。 また、個別の話としては、例えば先日 6 月 11 日にボランティアで開始された「子ども食堂」についても、将来的には行政のサポートが必要になってくると考えているところです。 教育支援や助成制度の他市町との比較の話については、例えば、本町で実施している「スクールバス事業」については、ほかの市町ではやっていない事業であり、ほかに劣っているわけではないと考えている 1 つの例であります。 そのほか、町ではこの 4 月から副食費・給食費の補助を行っておりますが、材料費や燃料費が高騰している状況の中で、今後についても、給食の質が悪くならないよう、値上げ相当部分は町で負担するという整理で進めてください。
教育長	それでは、資料については以上としまして、そのほかに何かご意見等ございますか？
	(意見なし)
教育長	それでは、皆様からのご意見を踏まえまして今後の事業に活かせるよう進めてまいります。
学校教育課長	それでは、以上をもちまして総合教育会議を閉会いたします。

令和 4 年 月 日

議事録署名人

教育委員会委員
